

市 だ 議 会 より



にほんまつ

第 号 9月定例会
平成27年11月1日発行
40



復興の光

合併10周年記念「一夜城」ライトアップ

I N D E X

定例会概要	城山市民プール施設条例制定等38議案を審議	2
特別委員会報告	決算審査特別委員会を設置 平成26年度決算を審査	4
常任委員会報告	常任委員会審査報告	8
一般質問	市の明日を考える 一般質問に18人が登壇	10
お知らせ	議会の動き・お知らせ	18

城山市民プール施設条例の制定等38議案を審議

二本松市議会9月定例会は、9月1日から25日までの25日間を会期として開催されました。今回提出された議案は、平成26年度各会計の決算認定や条例の制定、指定金融機関の変更、平成27年度補正予算など36件、委員会提出議案1件で、慎重に審議いたしました。

審議の結果、市長提出議案36件、委員会提出議案1件の全ての議案は原案のとおり認定・可決されました。

この他に請願2件のうち、「『所得税法第56条の廃止』を求める請願」は、賛成少数で不採択となり、「TPP交渉に関する請願」は全会一致で採択となりました。

最終日に追加された二本松市石平財産区及び二本松市針道財産区管理委員選任の同意についての議案2件については全会一致で同意されました。また、人権擁護委員候補者の推薦についても、全会一致で適任と認めました。

今期定例会の一般質問者は18名でした。

条例

■城山市民プール施設条例制定について

現在建築中の屋内市民プールの設置及び管理運営に関し、必要な事項を定めるもの。

■個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について

■手数料条例の一部を改正する条例制定について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

■福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

福島復興再生特別措置法の一部改正に伴い、関係する条例の引用条項を整理するもの。

■職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について

関係法律の一部改正に伴い、引用条項を整理するもの。

■市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について

市営住宅の設置・老朽化に伴う市営住宅の一部を用途廃止するための改正を行うもの。

<p>■阿武隈川出水災害危険区域に関する条例の一部を改正する条例制定について</p>	<p>現在建築中の屋内市民プールの設置及び管理運営に関し、必要な事項を定めるもの。</p>	<p>■個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について</p>	<p>行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。</p>	<p>■福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について</p>	<p>福島復興再生特別措置法の一部改正に伴い、関係する条例の引用条項を整理するもの。</p>	<p>■職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について</p>	<p>関係法律の一部改正に伴い、引用条項を整理するもの。</p>	<p>■市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について</p>	<p>市営住宅の設置・老朽化に伴う市営住宅の一部を用途廃止するための改正を行うもの。</p>	<p>■阿武隈川出水災害危険区域に関する条例の一部を改正する条例制定について</p>
<p>・7月15日の豪雨災害に係る</p>	<p>・防犯カメラ設置に係る補助金の増 3,890千円</p>	<p>・情報セキュリティ強化を図るためのシステム導入費の増 7,932千円</p>	<p>・認可保育所施設整備に係る補助金の増 37,422千円</p>	<p>・生活保護扶助費に係る過年度国庫支出金返還金の増 10,780千円</p>	<p>・農業系汚染廃棄物の一時保管処理等原発事故対策経費の増 53,656千円</p>	<p>・店舗等施設整備補助金の増 15,000千円</p>	<p>・道路等修繕料の増 30,000千円</p>	<p>・LED街路灯新設に係る工事費の増 20,000千円</p>	<p>・7月15日の豪雨災害に係る</p>	<p>・7月15日の豪雨災害に係る</p>

る条例制定について
水防法の一部改正に伴い所要の改正を行うもの。

補正予算

■二本松市一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ9億9,141万4千円を追加し、予算総額を637億7,795万3千円とするもの。

■二本松市指定金融機関の変更について
市の指定金融機関を従来のみちのく安達農業協同組合から二本松信用金庫に変更するもの。

る公共土木施設現年災害復旧事業費の増
46,000千円

その他

◎石平財産区管理委員選任の同意

紺野齊一さん、紺野健治さん、菊地誠一さん、大内孝吉さん、高野競さん、武藤喜一さん、高橋正統さん

◎針道財産区管理委員選任の同意

中川昭治さん、服部征洋さん、菅野佐一郎さん、菅野幸三郎さん、佐藤一男さん、大内弘成さん、高橋賢樹さん

◎人権擁護委員候補者の推薦

安部千江子さん（木幡・新任）

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第75号	平成26年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第76号	平成26年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第77号	平成26年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第78号	平成26年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第79号	平成26年度二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第80号	平成26年度二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第81号	平成26年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第82号	平成26年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第83号	平成26年度二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第84号	平成26年度二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第85号	平成26年度二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第86号	平成26年度二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第87号	平成26年度二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第88号	平成26年度二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第89号	平成26年度二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第90号	平成26年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第91号	平成26年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第92号	平成26年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第93号	平成26年度二本松市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第94号	二本松市指定金融機関の変更について	原案可決
第95号	二本松市城山市民プール施設条例制定について	原案可決
第96号	二本松市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第97号	二本松市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第98号	福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決
第99号	二本松市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第100号	二本松市地域包括支援センター条例及び二本松市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第101号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第102号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第103号	二本松市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第104号	二本松市阿武隈川出水災害危険区域に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第105号	平成27年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第106号	平成27年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第107号	平成27年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第108号	平成27年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第109号	平成27年度二本松市土地取得特別会計補正予算	原案可決
第110号	平成27年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第111号	二本松市石平財産区管理委員選任の同意について	原案同意
第112号	二本松市針道財産区管理委員選任の同意について	原案同意

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第8号	T P P交渉に関する意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第4号	「所得税法第56条の廃止」を求める請願	不採扱
第5号	T P P交渉に関する請願	採扱



決算審査特別委員会の様子

決算審査特別委員会

平成26年度各会計決算を審査

平成26年度の一般会計、特別会計及び企業会計決算の認定に係る議案19件は、市議会9月定例会に上程されました。

議案審査にあたっては、決算審査特別委員会が設置され、事業の効果・成果に関わる事項などについて、5日間にわたり詳細に審査されました。

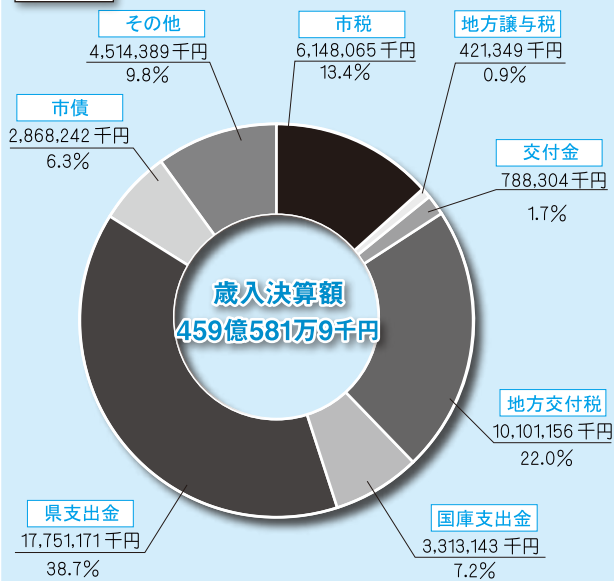
審査の結果、全議案「認定すべきもの」とし、本会議に報告されました。

9月3日に議長及び議会の選出の監査委員を除く23人の委員をもって構成する決算審査特別委員会が設置されました。特別委員会では、佐藤源市委員長、平敏子副委員長のもと、9月11日、14日及び15日の3日間にわたり、施策の重点事項に掲げた施策の目標ごとに、主な事務事業について、事業の成果・効果を主眼に総括審査を行いました。また、15日から17日の3日間にわたり、4つの分科会を設置し、各分野ごとに重点的に検証を行う事業を選定して詳細審査を行いました。分科会での質疑終了後には、委員による討議や事業の成果・効果等の事業評価も行いました。

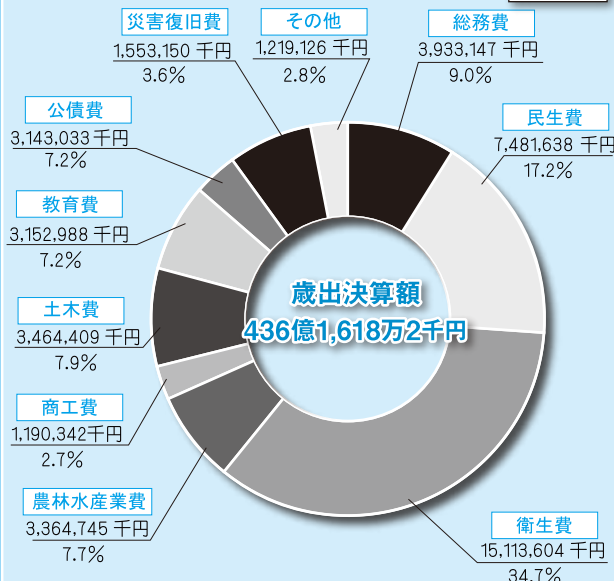
地方の財政環境が一段と厳しさを増す経済情勢を踏まえ、委員会審査及び分科会審査では26年度の行財政運営の実績や各施策の効果・成果などについて活発な議論を交わし、全会計の決算を認定すべきものとしました。

平成26年度 一般会計決算

歳入



歳出



審査結果の概要

◎総括審査

主な事務事業について、事業の成果・効果を主眼に各部ごとに審査。

◎総務部

問 広聴事業において、市民から提言のあった件数と提言を受けて実施した内容はどのようなものがあるのか。また、提言のあった内容を広報等で市民にPRしたのか。

答 菊松くんボックスで34件、元気のたねで87件、広聴カードで処理したものが4件あり、合計125件の提言をいただいた。道路の補修や菊松くんのデザインなど実現した内容もある。
実現した内容や提言いただいた内容は、広報にほんまつやウェブサイトで公表している。

◎市民部

問 住民センターに、太陽光発電設備の設置がされたとのことだが、設置の効果は。また、防災拠点としての利用を想定しての設置なのか。

答 26年度に6カ所設置した

◎産業部

問 観光ボランティアガイド協会運営費補助費が計上されており、24名の観光ボランティアガイドの皆さんにご協力をいただいたとのことだが、十分な人数なのか。また、ボランティアガイドの皆さんから意見や要望はなかったのか。

答 現在の人数で対応しているが、もう少し増員したいと考えている。ボランティアガイドの皆さんに研修をいただきながら、少しずつ人数が増えてきている状況である。意見や要望は伺っていない。

◎建設部

問 地域公園管理経費について、年度当初予算が2,300万円なのに対し決算額が6,200万円となっている。増額の要因と今後の対応は。

答 公園17カ所の遊具の更新を行ったが、補助事業の採択が年度当初のため、当初予算には計上されていなかった。全公園の遊具の更新を行ったため、今後の事業予定はない。

◎教育委員会

問 放射線等の副読本を作成したが、どのような授業を予定しているのか。

答 小中学校9年間を見通した資料として作成した。各学年でそれぞれ学ぶ内容が違っており、放射線について正しい知識を身につけるため使用したい。

◎上下水道部

問 岩代及び東和簡易水道事業特別会計において、原子力損害賠償金が計上されているが、その内容は。

答 モニタリング等に係る23年度分の職員超過勤務人件費を東京電力に請求したものである。

◎分科会審査（詳細審査）

4つの分科会を設置し、重点的に検証を行う事業を選定し審査。委員による討議や、事業の成果・効果等の事業評価も実施。

○総務分科会

8事業を重点検証事業に選定し審査。

『市民との協働による地域づくり支援事業』

「交付団体数と、交付事業の具体的内容は。」との質疑に対し、「団体数は市内で104件であり、内容は、浪江と岳下絆祭り、子どもの集いなど、



地域づくり支援事業による夏祭り

地域において恒例事業になりつつあるものもある。また、安達太良山への親子登山、地藏桜環境整備など、地域の活性化、地域の絆の再構築という面では大変有意義に使われている。」との答弁があった。

また、討議において、「各地域の振興のため有意義に活用されており、市民からの要望も多いため、事業を拡充継続すべきである」と考える。しかしながら、平成28年度においては、制度開始後5年を経過することから、支援事業の選定基準や交付方法等について、再度検証し実施していくべきと考える。」との意見があった。

『広報広聴事業』

討議において、「近年、各地で自然災害が多発していることから、緊急情報メール配信サービスの充実を図り、市民への周知徹底を図るべきである。」との意見があった。

○市民産業分科会

25事業を重点検証事業に選定し審査。

『消防施設整備対策』

「防火水槽の除染は考えているのか。」との質疑に対し、「無蓋の防火水槽について、平成28年度に除染を行いたいと考えている。防火水槽の除染については、コンクリート造であること、周辺の放射線量が一定程度高いこと、底に泥が10センチメートル以上溜まっていること、という国が求めている基準があり、今後設置状況について調査を進めていきたいと考えている。」との答弁があった。

○建設水道分科会

19事業を重点検証事業に選定し審査。

『東和簡易水道事業』

「一般会計からの繰り入れが歳入総額の51パーセントに

また、討議において、「全ての防火水槽の除染に取り組むことができるよう、除染対象基準の変更について国に対して強く要望すべきである。」との意見があった。

『中山間地域等直接支払制度事業』

「事業の対象面積の内訳及び構成員の各地域別の団体数と農家数はどのようになっているか。」との質疑に対し、「面積については水田が1,474ヘクタール、畑が150ヘクタール、草地が34ヘクタールである。構成員については、二本松地域が29団体、508件、安達地域が19団体、353件、岩代地域が41団体、910件、東和地

のほる。繰り入れが大きすぎるのではないか。かかった経費に対して不足分は一般会計から繰り入れをすればよいという考えなのか。」との質疑に対し、「簡易水道事業そのものが全国的にも水道料金で収益を確保するのが難しい事業でもあり、現在までも相当程度

域が45団体、884件、合計134団体、2,655件である。」との答弁があった。

また、討議において、「中山間地域にとって重要な事業であり、継続すべきである。」との意見があった。



中山間地域等直接支払制度事業による共同作業

の繰り入れを行ってきた。今後も繰り入れをなるべく抑えていくという予算のあり方を常に念頭に置きながら事業を進めていきたい。」との答弁があった。

また、討議において、「戸沢地区については現在も進行中であり、整備促進をするべ

きである。」との意見があった。

『安達駅周辺の整備促進』

「平成26年度に計画した事業が低い進捗率となった理由は。」との質疑に対し、「平成26年度に東西自由通路の整備をJR東日本に委託したが、建築確認申請のみの進捗しかなく、そのあとに続く駅東口・西口広場の整備ができなかった。」との答弁があった。

また、討議において、「駅西口も事業が前進するよう、より一層の整備促進をするべきである。」との意見があった。



整備が進む安達駅東地区

○文教福祉分科会

20事業を重点検証事業に選定し審査。

『温泉保養健康増進事業』

「温泉券の利用率が57・1パーセントであるとのことだが、この事業の効果をどのように捉えているか。」との質疑に対し、「当該事業については、温泉利用による健康増進、温泉へ出かけるという外出機会の提供による閉じこもりの防止、高齢者間での交流機会の創出等の効果が得られている。」との答弁があった。

また、討議において、「温泉券の利用率が50パーセント台である現状においては、対象年齢を70歳以上とした根拠を明確にするべきである。」との意見があった。

『文化財保護・保存事業』

「小浜長折三匹獅子舞の記録映像を作成したとのことだが、どのような効果を狙ったものか。」との質疑に対し、「地域の伝統芸能については、少子高齢化・過疎化の進行によ

り継承が難しくなってきたおり、貴重な文化財の、後世への保存・継承を目的としたものである。」との答弁があった。

また、討議において、「伝統文化の継承は重要な問題であり、記録映像等の取り扱いについては、今後、普及・活用する方法について十分に検討し、確立させておくべきである。」との意見があった。



小浜長折の三匹獅子舞

特別会計決算

(単位：千円)

区分	国民健康保険		後期高齢者 医療	介護保険		土地取得	公設地方 卸売市場	佐勢ノ宮住宅 団地造成事業
	事業勘定	直診勘定		保険事業勘定	介護サービス事業勘定			
歳入	6,544,670	123,440	548,228	5,048,603	24,741	20,110	8,153	10,061
歳出	6,296,313	121,526	546,839	4,967,314	17,091	20,110	7,200	10,061
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0	0	0	0	0
実質収支額	248,357	1,914	1,389	81,289	7,650	0	953	0

区分	岩代簡易 水道事業	東和簡易 水道事業	安達 下水道事業	岩代 下水道事業	茂原 財産区	田沢 財産区	石平 財産区	針道 財産区
歳入	134,133	267,505	223,078	84,204	1,437	273	2,239	113
歳出	133,970	267,436	223,078	76,777	1,124	204	2,076	87
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	7,414	0	0	0	0
実質収支額	163	69	0	13	313	69	163	26

企業会計決算

(単位：千円)

区分		工業団地造成事業	宅地造成事業	水道事業	下水道事業
収益的	収入	0	0	1,054,785	661,326
	支出	-	-	928,486	657,743
資本的	収入	-	-	358,445	119,054
	支出	-	-	671,726	350,434

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

一般会計補正予算・個人情報保護条例の一部改正等について

問 個人情報保護条例の改正について、マイナンバー制度が始まることにより、市町村等が持っている多様な個人情報を、各機関と連携し取得することになるが、取得した情報の管理はどのようになるのか。

答 データは、それぞれの機関で分散管理されており、必要なデータを必要な時にだけ照会して使用するため、マイナンバーに紐付けられて、全ての個人情報が一箇所に集約されるものではない。

問 一般会計補正予算のうち、情報管理費に計上されている、OA機器・ソフトリース料の内容は。また、マイナンバー制度開始に伴う、中間サーバーの構築費、管理費は含まれているのか。

答 今回の補正に計上したものは、セキュリティ強

化のため、インターネットを分離する経費と、USBメモリー等の利用を管理する資産管理ソフトのリース料であり、マイナンバー制度開始に伴う中間サーバーの構築費等については当初予算で措置している。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

手数料条例の一部改正・一般会計補正予算等について

問 通知カード500円、個人番号カード800円の再発行手数料は全国共通か。また、マイナンバーカードが確立した後の住民基本台帳カードの取り扱いはどうなるのか。また、個人番号が犯罪に使われた場合に番号を変更して再発行することは可能か。

答 カードの再発行手数料は全国同じである。また、住民基本台帳カードは平成28年1月1日以降は発行しない。しかし、現在使用している住基カードは使用期限までは使える。個人番号カードを作った方には、住基カードは返納してもらうため、重複はできない。また、個人番号は生涯基本的には変わらないが、個人番号が犯罪に使われた等の正当な理由があると認められた場合は、本人の申請に基づいて番号を変更して新たに発行する。

問 防犯対策事業について、防犯カメラ設置事業補助金の対象となる防犯カメラの設置場所はどこか。また、台数はどのぐらいか。

答 あだたら商工会が設置するものに対して補助をするものであるが、安達地域が、安達支所から渋川方面に向かう旧国道沿いに3箇所、道の駅安達の上下線敷地内に1箇所ずつの合計5箇所。岩代

地域が、小浜地域の交差点に2箇所、合戦場のしだれ桜前に1箇所の合計3箇所。東和地域が、針道の交差点に2箇所、太田の交差点に1箇所、道の駅ふくしま東和に1箇所の合計4箇所。合わせて12箇所として、二本松警察署とあだたら商工会が協議をして、予定地として決定している。

問 後期高齢者医療制度の被保険者数は何人か。また、繰越金を、後期高齢者医療広域連合納付金として支出される決まりがあるのか。

答 後期高齢者の被保険者数は平成27年3月31日時点で9,336人である。また、市町村が徴収した保険料はすべて広域連合に納入することとなっている。



机上審査の様子

9月3日に付託された各議案は、9月8日から10日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日25日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

一般会計補正予算・市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定等について

問 今回除却する4つの団地のそれぞれの建設時期と耐用年数は。また、建て替えの計画はあるのか。

答 茶園団地の建設時期は昭和30年から34年が大部分で、その他も建築後約50年から60年経過している。公営住宅法上、木造住宅の耐用年数は30年である。老朽化した住宅のある他の団地と一体的に、敷地の検討も含め、今後全体の計画の中で検討していく。

問 安達駅周辺整備事業の減額補正において、今年度の国の交付金が少なくなったことから事業費を減額しているが、事業の進捗に影響はないのか。

答 今年度当初の予定事業については、平成26年度の繰り越し予算で対応できる事業もあることから、

事業促進には影響はない。また、安達駅東西駅前広場については、東西自由通路整備完了後の整備となるが、全体計画の事業費にも影響はなく、平成28年度の事業完了に向け整備を進めている。



現地調査の様子(市営住宅茶園団地)

文教福祉常任委員会

城山市民プール施設条例制定等について

問 市民プールの料金については、条例の範囲内で指定管理者が定めるとのことだが、市民に対して料金を割引する方策を指定管理者と協議する考えは。

答 料金が割引となるような回数券等の発行については、指定管理者が決定した段階で協議をしていきたい。

問 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業において、5器分の予算を計上しているとのことだが、希望者の数に対し、5器分で足りるのか。

答 市内の耳鼻科の医師に18歳以下の軽中等度の難聴である方の人数を伺ったところ、約10名とのこと。そのうち補聴器を持っていない方は数名であった。また、同様の制度を実施している近隣市町村の年間実績が1～2件であったことを踏まえ、5器分とした。

問 債務負担行為において、学童保育所の指定管理業務委託料が計上されているが、どのくらいの金額を見込んでいるのか。

答 現在、指定管理者に学童保育所運営を委託しているのは3箇所であるが、次年度からは7箇所まで増やす見込みである。その増えた分も含めると指定管理業務委託料は5,000万円から6,000万円程度になる見込み。



机上審査の様子

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月3日から8日の4日間にわたり18人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

一般質問

加藤 建也

[市政刷新会議]



- ①マイナンバー制度の整備と課題について
- ②市内の公共施設における授乳施設について

問

- ①①共通番号の通知方法の手順は。
 - ②中間サーバー運営の責任の所在は。
 - ③特設の相談窓口を設置する考えはあるのか。
- ②①市内の授乳施設が絶対的に不足しているが、増設の考えはあるのか。
 - ②授乳室の案内板も設置されていないが早急に改善すべきでは。

答

- ①①地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から各世帯ごとに簡易書留で送付される。
 - ②中間サーバーのデータはそれぞれの市区町村が責任を担う。
 - ③全国の間合せ窓口のほか市独自のコールセンターを設置し相談窓口を一本化し対応する。
- ②①新たな施設整備については、所要スペースの確保や財政的な制約も考慮し、今後の検討課題とする。
 - ②案内誘導の改善は現地を調査し、対策を検討する。

一般質問

石井 馨

[あぶくま会]



- ①高齢者介護について
- ②本市の教育について

問

- ①①自宅介護者の負担軽減のための家政婦派遣等の仕組みづくりが必要では。
 - ②冠婚葬祭などの突発的な事態に対応するショートステイ等の受入体制構築が必要では。
- ②①学校において動物飼育を積極的に推進し、特にヤギの飼育を通して命の大切さや、地域住民との交流を図るべきでは。
 - ②情操教育として論語等の古典の素読を行う授業を取り入れてみては。

答

- ①①市内で6事業所が「ホームヘルプサービス」を提供しているほか、民間の施設でも実施している。
 - ②ショートステイについては事前登録が前提だが、突発的な事態の場合、担当のケアマネジャーに相談してほしい。
- ②①ヤギの飼育は施設面の問題もあり難しいが、飼育している農家を訪問する等で可能となると考える。
 - ②学習指導で暗唱や群読を取り入れている。伝統的な言語文化の学習の充実に取り組んでいく。

一般質問

安齋 政保

[市政会]



- ① 教育について
- ② 除染について

問

- ① 柔道の授業について
重大事故につながるおそれがあると心配されたこの授業を教育委員の方々は、現地に足を運び生徒たちの授業風景を視察されたことはあるか。
- ② 仮置場について
各仮置場で、借地契約を結んでいる所の契約満了後、中間貯蔵施設へ運び出せない時の対応はどうされるのか。

答

- ① 学校訪問以外でも、授業参観をするよう話し合っており、武道が導入された時に参観している。教育委員会としても学校での授業を参観するよう教育委員長と話し合っており参観したいと考えている。
- ② 中間貯蔵施設への移送作業が終了するのは困難な状況のため借地契約の終期を迎える仮置場については、国の整備状況を考慮しつつ、28年度中に地権者並びに行政区長さん等に契約延長についての協議をお願いしたいと考えている。

一般質問

深谷 勇吉

[真誠会]



- ① 火山噴火への対応について
(安達太良山・吾妻山)
- ② 治安対策について

問

- ① 農地・草地への影響はどういったことが考えられるか。また、牧草への被害は。
- ② ①大手元請除染事業者が利用している市内の宿舎の箇所数、人数は。
② 今回の事件により、地元の作業員まで、懸命に働いているのに質が悪いと見られるのではないか。

答

- ① 火口から約6～20kmの範囲で降灰の影響が考えられる。牧草に火山灰が付着すると、嗜好性が悪くなり、家畜の体調に悪影響を及ぼすことが考えられる。
- ② ①二本松6、安達1、東和1、岩代2の合計10箇所あり、1,239名。
② 地道に真面目に働いておられる多くの方々が誤解されることのないよう、環境省福島環境再生事務所長・大手企業各社に対し、再発防止にむけた労務管理の徹底を文書で要請したところである。

一般質問

高橋 正弘

[あぶくま会]



- ① 除染事業の推進について
- ② 安全・安心の地域づくりについて

問

- ① ①一般住宅の除染の実施状況は。
②減容化施設の建設計画は。
- ② 大阪・中学生殺人事件を受けての市民の安全対策は。

答

- ① ① 8月末現在で市内19,183世帯のうち16,095世帯が除染終了し、進捗率は84%となっている。
② 施設建設の候補地については、二本松市全域、安達管内全域を対象に、民有地も含め再検討し、選定を行う。
- ② 今回の事件を受けて、犯罪抑止力強化、防犯体制の強化を図るため、防犯カメラと街路灯を緊急に設置。児童、生徒及び保護者に対し夜間の不要な外出を避けるなどの注意喚起を行っている。

堀 籠 新 一

[真誠会]



- ① 二本松市長期総合計画について
- ② 道路網の整備について

問

- ① 新たな長期総合計画について、「選択と集中」による、長期的重点施策の素案の提示は。
- ② 国道459号の市町村合併支援道路整備事業西新殿工区の計画変更の内容及び今後の見通しについて伺う。

答

- ① 新計画は、平成28年度から32年度までの5年間に優先すべき事業を選択し、集中して実施したい。特に若者の定住促進や子育て支援、観光交流人口の拡大と地域振興の拠点整備、生涯スポーツと健康づくりを重点施策と位置付ける。
- ② 事業完了を5年延長し平成33年度に変更した。移川に架かる新設橋2橋を含むミニバイパス区間を優先に施工する。その後、安ノ沢の大規模土工による現道拡幅工事に移行し、早期完成を目指す。

平 栗 征 雄

[市政刷新会議]



- ① 安達地区内の道路改良について
- ② 災害公営住宅建設の各地区の進捗状況について

問

- ① 安達管内の各道路は、県道・市道とも混雑状態が続いている。県道安達停車場線の道路拡幅と歩道設置、油井福岡地内の県道市道の交差点、八軒町地内の変則道路等の改良は。
- ② ①根柄山地内の進捗状況は。
②その他各地区の進捗状況は。



根柄山地内の造成工事の様子

答

- ① どの箇所も県道と接続しており、道路拡幅と歩道設置について、福島県と協議していく。引き続き歩道のある拡幅改良工事の早期着手を強く要望していく。
- ② ①根柄山地内は、現在は造成工事が終わり、70戸の入居は、来年7月から9月の予定である。
②石倉地内は、建築工事が買い取り方式となるため、来年春には入居募集、来年10～12月入居予定。市内若宮と表地内は、平成29年7月～9月の入居予定である。

小 林 均

[公明党]



- ① 若者の活躍推進について
- ② 防犯対策の強化と、小中学校でのCAPプログラムの実施について

問

- ① ①若者をはじめとする新有権者等の投票率向上の取組みについて
②若者の夢へのチャレンジの応援について
③18歳選挙権成立を機に仮称「にほんまつ若者創生議会」の開催を。
- ② ①大阪寝屋川市の事件を受けた街路灯・防犯カメラの設置など防犯対策の強化について
②小中学校におけるCAPプログラム(「子どもへの暴力防止」を学ぶ教育プログラム)の実施について

答

- ① ①来年度18歳19歳の新有権者は約1,000名。広報やWebを活用した周知の他、高校で模擬投票を実施。市民の利便性の高い所での期日前投票所の開設は情勢を見て検討。
②キャリア教育充実の支援を行っており、今年度、留学助成を開始。
③若者の声を市政に反映させる方策として、今後の研究課題とする。
- ② ①現在、防犯カメラは市内で60台。今年度、幹線道路に12台新設予定。LED街路灯は95基を新設予定。
②CAPプログラムは今後検討する。

一般質問

小野利美

[市政刷新会議]



- ① 小・中学校生のいじめ対策について
- ② 除染廃棄物、仮置場について

問

- ① 今後のいじめ対策に関する指導の強化について
- ② 市で支払っている仮置場の借地料について



市内の仮置場

答

- ① いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうるものであるとの認識を持ち、各種調査をおし、早期発見といじめの実態把握に努めるとともに、市主催の教育相談研修や生徒指導研修により、学校の教育相談体制を充実させていく。
- ② 年額で固定資産評価額の100分の4を基本額とし、これに地目別加算として、1,000平米当たり、田・畑・宅地で5万円、山林・原野は、3万5千円をプラスしてお支払いしている。

一般質問

熊田義春

[市政会]



- ① 農業経済について
- ② 認知症の初期支援について

問

- ① 農業全般に対する今後の施策と対応は。(問題があるとすれば当局で出来ることはないのか。)



秋の収穫作業

- ② 本市で確認している認知症者の人数は。

答

- ① 農業者の高齢化や人口減少による担い手不足が深刻な状況であることから、現行の新規就農者研修支援事業、農業者育成研修事業を有効活用し、人・農地プランによる認定新規就農者の認定を推進し、青年就農給付金の活用により、後継者育成を図っていく。
- ② 正確な数値は把握できず、国の将来推計に基づき算出すると、平成27年4月1日現在の65歳以上人口16,654人に対し、認知症者は2,600人程度と推計される。

一般質問

佐藤有

[真誠会]



- ① 観光行政について
- ② 都市公園の管理運営について

問

- ① 4月から3ヶ月間にわたって行われてきたDCキャンペーンの効果と全総括について
- ② 震ヶ城公園内外の樹木(名木)の管理について



震ヶ城公園の段の松

答

- ① 様々なイベントで本市らしい「おもてなし」が展開され、主要な観光施設のお客様は81万3千人と、昨年より15万4千人増加した。取組みを継続して展開すれば、震災や風評被害を払拭し、多くの方をお迎えできると確信している。
- ② 震ヶ城公園内には貴重な樹木が多くあり、造園業者へ委託管理し、剪定や松くい虫防除の薬剤地上散布等を実施している。公園は景観や憩いの場として重要な財産であり、巡視を密に行い管理していく。

一般質問

菅野 寿雄

[市政会]



- ① 東電原発事故被害からの復旧対策について
- ② 市長公約の進捗状況について

問

- ① 汚染廃棄物減容化施設について
 - ① 安達広域行政組合における取り組みの現状は。
 - ② 施設の必要性について市長の考えは。
- ② ①二本松病院における産科医師確保に関する現時点での進捗状況及び定期報告の考えは。
 - ② 子育て支援に関して、保育所待機児童は解消されたのか。また、第二子以降の保育料無料化が一部で完全実施されていない現状を解消すべきではないか。

答

- ① ①安達管内全域を対象として、民有地も含め施設の候補地選定を行っている。
- ② 除染の推進と生活環境の改善のためにも必要な施設と考えている。
- ② ①産科医師確保の具体的解決策は未だ見出せない状況にある。進捗状況については、定期報告ではなく、情勢の変化に応じた随時報告を考えている。
- ② 現在の待機児童数は54人である。認可外保育所における一部有料を解消する考えはない。

一般質問

佐藤 運喜

[市政刷新会議]



- ① 安達駅周辺整備及び市内渋滞箇所対策について
- ② 産業振興について

問

- ① ①都市計画道路整備で安達駅・福岡線の整備計画について

整備が進む安達駅舎

 - ② 東口轟川の河川改修工事と都市公園の計画について
- ② 農業の振興と観光都市二本松の今後の方向性は。

答

- ① ①来年度策定予定の安達駅西地区整備基本計画の中で優先事業として計画している。
- ② 7月に県の現地調査が実施された。今後も引き続き県に対して要望する。都市公園は次期都市マスタープランの中で計画を検討する。
- ② 農産物の安全・風評被害対策の推進、生産から販売まで一体型6次化戦略に取り組む。観光・交流については環境整備充実を図り、滞在回遊型観光等を目指し、異業種間の連携交流と情報の共有を推進していく。

一般質問

平 敏子

[日本共産党二本松市議団]



- ① 教育の充実について
- ② 茶園住宅団地の今後の整備について

問

- ① ①給食費の無料化の検討と無料化に係る費用は。
 - ② 「ママになるなら二本松」では、小中学校の教材費用等として、小学生に5,000円、中学生に9,000円、さらに中学3年生には進路対策費として1万円、学級費は全額市負担となっている。そこで、小学生5,000円、中学生9,000円の助成額の内訳は。
- ② 茶園集会所の老朽化に伴う、コミュニティセンター建設の長期総合計画における位置づけは。

答

- ① ①考えていない。2億2,700万円。
- ② 小学生は福読本や学習資料等2,200円、紙類や文具等2,035円、学習指導教材費94円、実験実習教材費390円の合計4,719円。1・2年生は学習活動費を加え5,469円。中学生は教材消耗品費6,060円、学級・教科等運営費2,003円、学習指導教材費83円、実験実習費463円の合計8,609円。
- ② 茶園団地の事業計画に関連する補助を活用した市事業としての整備も検討している。

一般質問

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 原発事故からの復興方針について
- ② 市長の政治姿勢について

問

- ① 政府の復興方針は、事故の収束状況や県民の実態・要望からかけ離れたもので認められない。次の点を国に強く求めるべき。
 - ・ 県内10基廃炉を決断する。
 - ・ 風評被害が続く中、営業損害賠償は中間指針のとおり継続する。
 - ・ 復興事業の地元負担は求めない。
 - ・ 健康診断や医療費を無料とする。
- ② 今年は戦後70年の節目にあたる。以下伺う。
 - ・ 先の大戦についてどう思うか。
 - ・ 日本国憲法についてどう思うか。

答

- ① 国は賠償や避難者への生活支援、廃炉等に取り組んでいるが、抜本的な解決に至っていない。事故の早期収束へ向け、事業者と一体で責任を持ち取り組まなければならない。一日も早い復旧・復興が実現されるよう、今後も市民と情報を共有し取り組んでいく。
- ② 先の大戦及び日本国憲法については、一地方自治体の市長としては、本会議・一般質問の場では答弁するべきではないと考える。

一般質問

佐藤 源市

[あぶくま会]



- ① カントリーパークとうわの整備拡充について
- ② 集落道及び農道整備について

問

- ① ①市民のスポーツの振興及び健康づくりの施設として、雨天時、冬期間利用可能な室内競技場（土の踏める）の建設について
- ② 地域環境を活かしたクロスカントリーコースの設置について
- ② 中山間地域に位置する集落道及び農道の今後の整備計画について



カントリーパークとうわ

答

- ① ①室内競技場建設については、カントリーパーク施設内には、用地の確保は困難であり、今後検討する。
- ②施設内設置については難しい状況にあり、近隣の地形を活かしたコースの整備については、今後地理的条件や施設規模等について陸上競技関係者と検討する。
- ② 地形的にも改良は難しいため維持工事で進める。今後は整備コストも高くなり事業費も膨大となることから、緊急性、優先度、推定交通量を考慮し整備計画の中で検討する。

一般質問

平塚 與志一

[真誠会]



- ① 二本松駅南開発について
- ② 工業団地計画の進捗状況について

問

- ① 安達駅周辺整備は、本年度にておおむね終了するので、次は二本松駅南広場と周辺整備に着手すべきと考えるが、市長の考えは。
- ② ①長命工業団地10haの農振除外はどうなっているのか。また地権者から同意は得ているのか。
- ② 高平の復興工業団地への設置を検討されていた企業は、その後どうなっているか。

答

- ① 二本松駅南口広場の整備やアクセス道路等について、28年度より5カ年計画にて整備していく。整備の範囲、順序等について実施計画を策定し、事業を進める。
- ② ①日本立地センターに委託し基本計画を策定中。農振除外は進めていない。地権者の同意も得ていない。
- ② 企業立地補助金の採択を受け立地を予定していた企業に小沢工業団地への移動をお願いし、話し合いを進めているが、進出には至っていない状況である。

齋藤 広二

日本共産党二本松市議団



- ① 空き家対策について
- ② 商店街リニューアル事業について

問

- ① ① 空き家の実態調査と今後の方針について
- ② 相続人不在の危険な空き家対策は。
- ③ 国県への財政措置を求めること。
- ② 共産党市議団が繰り返し要求してきた事業だが、予算額3,000万円の経済波及効果は。

答

- ① ① 市内8割の271行政区の報告で空き家が622件。うち大規模修繕、倒壊の恐れ、廃屋同然としたものが212件で34%。今後、残りの行政区の実態調査を進める。
- ② 国がガイドラインを作成するので実効性ある対策を検討する。
- ③ 補助制度や財政支援を要望する。
- ② 受付開始日に予算を上回る92件の申請があったので1,500万円追加する。総請負額は7,400万円。市内施工業者に限定しており、経済波及効果は増える見込み。

議案第75、76、77、78、82、83、84、85、92、93、96、97、105号
平成26年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定
について 他

反対

齋藤広二 議員

平成26年度一般会計決算は消費税引き上げで8.8億円の歳出増となった。また、マイナンバー実施に伴う国の全額負担方針が、41%も市負担となる。議員、市三役の期末手当の引き上げは市民の理解は得られない。国保と後期高齢者医療特別会計は保険料が引き上げられた。

二本松上水道は9,728万円の純益を上げたが、各上下水道決算は消費税分引き上げで3,210万円の負担増となった。浪江仮設の水道料金は2,137万円と貢献。

討論

請願第4号 所得税法第56条の廃止を求める請願

平 敏子 議員

賛成

人間が働いたら、その労働にふさわしい給与を受け取るのは当然のこと。かりに家族従業員が、世間的な常識の評価として年間150万円の給与に匹敵する労働をしても、所得税法第56条のもとでは、妻の場合、事業専従者控除86万円だけ、その他の親族の場合は50万円だけしか認められていない。そこで、「所得税法56条の廃止」を求めるものである。

世界の例を見ても、アメリカ・イギリスでも、ドイツ・フランスでも隣の韓国でも「家族従業員の給与は経費」が世界の流れである。

委員会提出議案第8号
TPP交渉に関する意見書の提出について

菅野 明 議員

賛成

ハワイでの閣僚会合は、合意できず終了し年内の妥結は事実上困難となった。乳製品の市場開放、新薬データの保存期間、自動車部品の原産国規則の問題が最後まで残り、先行きは不透明である。

日本はコメの需要が減少し、水田の生産余力があるのに、毎年77万トンのミニマムアクセス米を輸入、米余りと米価暴落で大変な苦労を強いている。国益を損ねて合意すべきではなく、国会決議を断固守り、交渉から撤退すべきである。

反対

浅川 吉寿 議員

所得税法第56条が必要な理由として、我が国では企業と家計が十分に分離されておらず、生計を1つにする家族に対し、給料を支払う慣習はない。また、給料を必要経費として認めれば、家族間での所得分割や租税回避の手段として、利用される恐れがあることなどが挙げられる。所得税法第56条が、不公平な法律と言うならば、所得税法第57条を適用運用して、青色申告納税制度の意義を尊重すべきであると考えてるので反対する。

9月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決・認定・採択されています。

議員名 議案等名	議決結果	賛成 反対	本多	佐藤	石井	加藤	本多	熊田	小野	安齋	深谷	菅野	堀籠	佐藤	菅野	小林	浅川	平塚	平塚	斎藤	斎藤	斎藤	高橋	五十嵐	平栗
			勝実	運喜	馨	俊昭	義春	利美	政保	勇吉	寿雄	新一	有	明	均	吉寿	敏子	志一	広二	源市	賢一	周一	正弘	勝蔵	征雄
議案第75号 平成26年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号 平成26年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号 平成26年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号 平成26年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号 平成26年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号 平成26年度二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号 平成26年度二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号 平成26年度二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号 平成26年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号 平成26年度二本松市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号 二本松市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	20:4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号 二本松市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	20:4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号 平成27年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号 「所得税法第56条の廃止」を求める請願	不採択	3:21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対。 ※議長（野地久夫）は採決に加わっていません。

議長に野地久夫 議員



野地久夫 議員が平成27年8月21日付けで、第5代議長に就任しました。

また、次のとおり変更がありましたので、お知らせします。

■議会運営委員会

委員長 高橋 正弘
副委員長 熊田 義春
委員 平栗 征雄

■安達地方広域行政組合議会

議員 小野 利美

■福島地方水道用水供給企業団議会

議員 野地 久夫

■会派の変更

野地 久夫（無所属）
平塚與志一（真誠会）

- ◎財産の取得について
霞ヶ城公園用地取得（面積5,206・81㎡）
- ◎消防ポンプ自動車購入
（二本松・北杉田屯所1台、岩代・松林屯所1台、（仮称）二本松市学校給食センター1厨房機器購入）
- ◎平成27年度一般会計補正予算
○農山漁村活性化プロジェクト支援整備交付金
・（追加配分）道の駅「さくら

◎議長の選挙について
前議長の議員辞職に伴い行われたもので、選挙の結果、野地久夫議員が議長に選出されました。

第7回臨時会

第7回臨時会が、8月21日に開催され、専決処分の報告1件と、副議長提出による議長選挙が行われました。

第6回臨時会

第6回臨時会は、7月21日に開催されました。提出議案は、市長提出議案4件で、審議の結果、全議案、原案のとおり可決されました。

- 霞ヶ城公園駐車場整備 9,000千円
- 水稲種子購入費補助金の増 5,408千円
- （新規割当）みちのく安達農業協同組合直売施設の調査設計 5,341千円
- の郷」整備 8,435千円

平成27年第6・7回（7・8月）臨時会

- 7. 8 にほんまつ市議会だより編集委員会
- 13 にほんまつ市議会だより編集委員会
- 15 安達地方市町村議会議長会国への要望活動
- 17 議会運営委員会
- 〃 安達地方広域行政組合議会議会運営委員会
- 21 平成27年第6回(7月)臨時市議会
- 〃 議員協議会
- 24 安達地方広域行政組合議会7月定例会
- 〃 安達地方広域行政組合議会全員協議会
- 29 福島県後期高齢者医療広域連合議会議会運営協議会
- 〃 福島県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 8. 12 会派代表者会
- 19 議会運営委員会
- 21 平成27年第7回(8月)臨時市議会
- 〃 議員協議会
- 28 議会運営委員会
- 〃 会派代表者会
- 〃 にほんまつ市議会だより編集委員会
- 31 福島地方水道用水供給企業団議会8月定例会
- 9. 1 平成27年第8回(9月)定例市議会開会
- 〃 議員協議会
- 7 会派代表者会
- 11 決算審査特別委員会(～25日)
- 14 会派代表者会
- 18 議会運営委員会
- 24 安達地方広域行政組合議会議会運営委員会
- 〃 安達地方市町村議会議長会臨時総会
- 25 平成27年第8回(9月)定例市議会閉会
- 〃 議員協議会
- 28 にほんまつ市議会だより編集委員会
- 29 安達地方広域行政組合議会9月臨時会
- 〃 安達地方広域行政組合議会全員協議会
- 〃 徳島県吉野川市議会会派行政視察受入

お知らせ

◎次回の定例会は12月上旬開会の予定です。
皆様お気軽に傍聴においでください。
◎市議会だより、または、本市議会に対する
ご意見ご感想をお寄せください。

【あて先】
〒964-8601 二本松市金色403番地1
市議会だより編集委員会
TEL 55-5143 (議会議務局)
FAX 22-6047
E-mail : shomu@city.nihonmatsu.lg.jp

◆市議会ウェブサイト◆

市議会の活動を分かりやすくお伝えするために
ウェブサイトを開設しています。
ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

ウェブサイトでは次の情報がご覧いただけます。

- 市議会のしくみ
- 議員名簿
- 議会中継
- 会議結果一覧
- 議会だより
- 会議録検索システム

*市議会ウェブサイトは二本松市ウェブサイト内にあります。

議員も傍聴

～二本松市子ども議会開催される～

合併10周年を記念して、初の子ども議会が8月20日に開催されました。

午前には市内の小学生26人、午後からは市内の中学生26人が参加し、それぞれ一般質問が行われました。

子どもの視点からの率直な質問や貴重な意見が相次ぎ議員も真剣に傍聴しました。



議場で行われた子ども議会(小学生)の様子

編集後記

市民の皆さま、いつも市議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。どうぞございます。

私たち編集委員は、読者の皆さまへ内容を詳細に見やすい紙面でお知らせするよう委員会で検討を重ねています。

第40号は市議会だよりでは初めて決算審査特別委員会の様子と内容を詳しく掲載させていただきました。感想などを聞かせていただければ幸いです。どうぞございます。



編集委員会
委員長
副委員長

深野 小野 佐藤 石井 加藤 本藤 菅野

勇吉 利喜 運馨 俊也 建昭 明有